

「手術するしかない」といわれたヘルニアが 腰の関節の動きを正しくしただけで治った!

A K A 療法

腰痛を訴える人の9割は仙腸関節の機能異常と炎症が原因。その関節の動きを正し、機能を回復させれば、痛みを取り除くことができる。

「手術をしないで椎間板ヘルニアが治った!」「今までの痛みがウソのように消えた!」

と、いま、腰痛に悩む人たちの話題を集めているAKA療法。日本語訳は関節運動学的アプローチという小難しい名前ですが、要は関節の動きを正常にし、体の痛み

を取り去るという治療法です。

とくにAKA療法で中心的に治療するのは仙腸関節という骨盤にある関節。上半身を支える骨盤の関節ですから、体重の重みに耐えかねて機能異常や炎症を起こしやすく、AKA療法では、腰痛を訴える人の9割は、この仙腸関節の異常が原因と考えています。そして、もし、この関節の異常による整形外科的な痛みであれば、だいたい1〜2回のAKA治療で3週間以内にほとんどの痛みは治癒するというから驚きです。

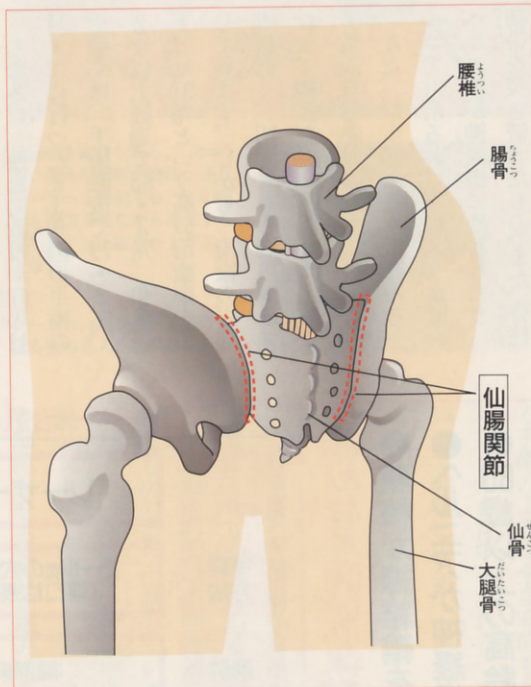


下肢の筋力や反射を調べ、ヘルニアによる神経障害がないかチェック。



体を前屈させたり横に曲げ、仙腸関節の機能異常がないか動きを調べる。

また、反対にあなたの腰痛がAKA療法に反応しなければ、神経系やMRIの検査を経たうえで初めて整形外科的治療の対象となる疾患と診断できます。



仙腸関節は腰椎の下にある仙骨と骨盤の腸骨の間にクサビ状に食い込んでいる。非常に動きが少なく、機能異常や炎症を起こしやすい。

つまり、AKA療法は治療ばかりでなく、診断にも不可欠な治療法といえるのです。

手のひらで関節を治療

それでは、AKA療法の具体的な治療内容を望クリニック(東京・南池袋)の住田憲是医師にうかが

腰痛の原因の9割は仙腸関節の機能異常。関節機能を正常に戻せば必ず回復する!

いましょう。

「関節の機能異常をひとつひとつ正確に治療するので、整体などの民間医療とはまったく異なるものです。実際は手のひらで仙腸関節や背中の肋椎関節などを微妙に押し動かします。動くのはせいぜい2mmくらいのものですが、



住田憲是(すみた かつよし) 望クリニック整形外科主任。日本整形外科学会認定医。同スポーツドクター。AKA療法の普及に全力を尽くしている。

それで痛みや炎症の原因となる関節のひっかかりをとることができ。治療に要する時間は施術前のマッサージの時間を含めても30分程度。月1回の治療でも十分な効果が期待できます。しばらく続ければ、関節に異常があつて痛みを感じている人なら、体のどこに痛みがあつても必ず治りますよ!

現在、望クリニックに通う柏田弥生子さん(38歳・東京都杉並区・仮名)も、AKA療法に出会い、ホッと胸をなでおろしたひとりです。柏田さんは半年前に足腰の激しい痛みに襲われて、救急車で都内の大学病院に運ばれました。診断は椎間板ヘルニアによる座骨神経痛。たしかにMRIによる画像診断で